



# みんなではじめる 野良猫対策②

■環境対策課 ☎57-8508

## 野良猫への「無責任」な餌やりはやめましょう

### ■ルールを守った餌やりを!

「かわいい」「かわいそう」といって、餌を与えるだけで、その後の管理をしない無責任な行為は、その地域に野良猫をどんどん増やすことになり、結果的に不幸な猫を増やす行為になります。かわいそうな野良猫を増やさないためにも、きちんと餌やりルールを守り、責任をもって適正な管理を行いましょう。



### ■無責任な餌やりで起きること

- その地域に猫が増える
- 糞尿、毛、餌の食べ残し、ごみ袋をあさるなどにより悪臭が発生する
- 花壇や庭木を荒らしたり、洗濯物を汚したりなどの被害が出る
- 猫が増えることにより、発情期の鳴き声やケンカの騒音が発生する

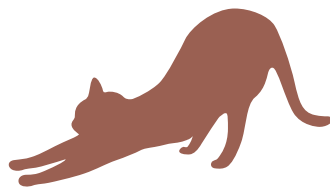
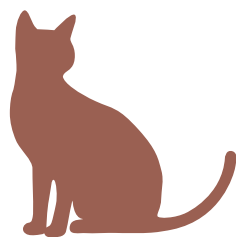


## 「餌やりルール」を守ろう!

### ■置き餌はしない

お腹をすかせた猫は、餌を求めてゴミを荒らしたり、食べ物をあさることがあります。餌場を管理することで、このような被害を未然に防ぐことができます。

餌を与える場所と時間を決めて、餌を食べ終わるまで見守りましょう。



### ■糞尿の始末をする

餌を食べれば排せつもしますが、その場所がご近所の庭先などであってはなりません。ペットショップやホームセンターで売っている猫用トイレの他に、家庭にあるプランターや、ブロックと砂を使って猫用トイレを作ること可能です。設置してこまめに掃除しましょう。



### ■不妊・去勢手術を行う

不幸な子猫を増やさないためにも不妊・去勢手術をしましょう。猫は繁殖力が強いので、繁殖制限を行わなければあつという間に増えてしまいます。香南市ではメス猫不妊手術推進補助事業を行っています。詳しくは環境対策課までお問い合わせください。

## 「いつか」のために「いま」を支える



### 無関係と思わない

今はクルマに乗れるから必要ない、必要な人だけが利用すればよい、といったように自分には無関係と思っている人もいるのではないのでしょうか。いつかクルマに乗れなくなり、いざ公共交通に頼ろうと思っても、「いま」を支えていかなければ、公共交通を残していくことはできないかもしれません。

健康のために駅やバス停まで歩く、運転が不安になってきた、通勤中に読書や勉強がしたい、環境に配慮したいなど、公共交通を利用するきっかけや活用の仕方はたくさんあります。

### 公共交通を楽しむ

はじめて市営バスを利用された方からは「普段、クルマを運転している時は通らない道を通り、少し高い位置から外を眺められるのでとても楽しかったです」といった声もあり、普段とは違った移動手段を使うことが楽しみにつながることもあります。

いつものお出かけや家族・友人と遊びに行く時などに公共交通を上手く活用し、公共交通を守り育て、クルマを手放しても安心して住み続けることができる未来を作っていきましょう。

## 公共交通に関わる人たちの声

### 移動のプロフェッショナルに



「高知工科大学地域公共交通研究室」土居貴之氏

車等の移動手段を持っていない人にとって、公共交通は生活に欠かすことができません。一方で車を利用できる人にとって、鉄道やバスは「風景の一部」になってしまっているのではないのでしょうか。よく言われるのが「車に乗れなくなったら、バスに乗らあよ。しかし考えてみてください。車に乗れなくなった時というのは、気力も体力も落ちきっている状態です。そのような状態で果たしてバスの時間を調べ、運賃を確認し、バス停まで移動できるのでしょうか。公共交通を整備するのは行政や運行事業者の役割ですが、公共交通を維持させるのは住民の役割でもあります。「車に乗れなくなった」そのときに、戸惑うことなく公共交通を使うかどうかは、日頃から公共交通の利用に慣れていくかどうかにかかっています。公共交通を単なる「風景」にしてしまわず、お出かけの目的に合わせて賢く車と公共交通を使い分けることができる「移動のプロフェッショナル」な市民が増えることで、公共交通の運行が持続し、将来も安心して住み慣れたところで暮らしを続けられるのではないかと考えます。

■利用していてどうですか？  
市営バスの小さいバス車両はガタガタ揺られて乗り心地が少し悪い(笑)こともありますが、私がよく利用することもあり運転手の方が降りるバス停を覚えてくれていたので安心して利用できています。また、最近新型コロナウイルス感染症の影響で車内での会話を控えています。が、車内では知らない人と出会い、色々なお話ができて楽しく利用できるときもあります。香南市に引っ越してきた身でもあるのでバスで知り合いができることはとてもうれしいです。

■利用に不安はなかった？  
路線図や時刻表の見方には慣れていませんので、市営バスを初めて利用するときも不安はなかったです。

■利用のきっかけは？  
自転車で転倒したことがきっかけです。のいち駅で市営バスがあることを知り、時刻表をもらったことをきっかけに、今は市営バスとタクシーの両方使っています。

### 市営バス利用者インタビュー



利用者の濱田さん  
野市町在住、80歳